

公益財団法人とよなか国際交流協会

2020 年度年次報告書 (概要版)

こくりゅう@home 2020

2020年4月1日～2021年3月31日 (27期)

公正で持続可能な多文化共生社会をつくります



とよなか国際交流協会 2020 年度年次報告書（概要版）こくりゅう@home 2020

も・く・じ

もくじ・とよなか国際交流協会の活動について 2
 理事長・事務局長あいさつ 3
 外国人をとりまく現状と ATOMS の取り組み 4-5
 <各事業からの報告>
 ・学習支援・サンズレイス/子ども母語 6
 ・多文化保育「にこにこ」/韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい 7
 ・若者支援事業/外国人のこども白書・子どもの夢応援ネットワーク 8
 ・小学校外国語体験活動事業/学習日本語「こんばす」 9
 ・多言語相談サービス事業 10-11
 ・国際教育/Filipino Young at Heart's Club 12
 ・防災事業/平和と共存のための～おまつり地球一周クラス 13
 ・留学生・ホストファミリー事業/しょうない・おやこでにほんご 14
 ・おかまち・おやこでにほんご/せんり・おやこでにほんご 15
 ・日本語交流活動「千里にほんご」/南部にほんご・オンラインにほんご 16
 ・日本語交流活動「もっともつつかえるにほんご」「とよなかにほんご・木ひる」 17
 ・日本語交流活動「とよなかにほんご・金あさ」「にちょうがちゃがちゃだん」 18
 ・多文化共生推進事業/ボランティア養成・研修・哲学カフェ 19
 ・持続可能な開発のための教育の 10 年（ESD）とよなか/通訳派遣 20
 /メディアリテラシー・市民セミナー/講師派遣/EPA 介護福祉士候補者のための日本語
 ・市民活動協働事業/ TOPICS① 21
 ・情報サービス/施設管理受託事業 22
 TOPICS② 23
 コロナ禍におけるとよなか国流の取組 24-25
 財務報告 TOPICS③ 26-27
 協力者ご芳名 28
 役員紹介/スタッフ紹介 29
 事業一覧 30
 広告協賛 31-32

とよなか国際交流協会の活動について

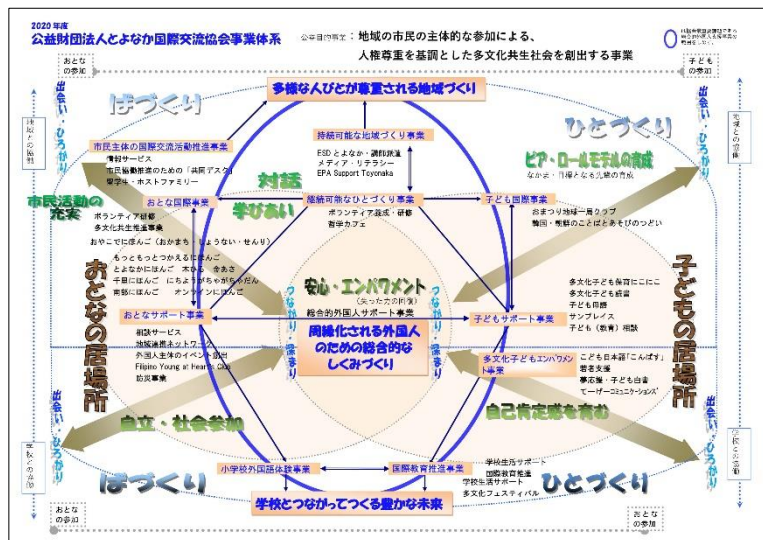
～公正で持続可能な多文化共生社会を創ります～

外国人が安心して集える居場所づくり&エンバウメントをすすめる事業や多文化共生社会を推進するひとづくりを中心に、さまざまな活動を地域や学校と連携しながら日常的に展開しています。

【活動理念】市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、

世界とつながる多文化共生社会をつくる

受賞歴	
2016. 10	大阪 NPO センター CSO アワード CSO 賞
2014. 01	大阪弁護士会 人権賞
2013. 05	憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
2013. 02	公益財団法人パナソニック教育財団 2012 年度 「子どもたちの“こころを育む活動”」奨励賞



理事長あいさつ

2020年は、新型コロナウイルスで始まり、新型コロナウイルスで終わった1年でした。2度の緊急事態宣言にもかかわらず、結局、残念ながら感染拡大には歯止めがかかりませんでした。

そして、1年以上にもおよぶ新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、非正規雇用労働者の失業増加や家庭内DVの増加、子ども・若者への教育的・心理的悪影響、などなどの問題が指摘されているようです。当協会の多言語相談サービスへの相談件数は、前年と比べて倍増致しました。

そんな中、当協会のスタッフ及び多くのボランティアは、孤立しがちな外国人が孤立せず、安心・安全に暮らせるようにするにはどうすれば良いか、日々迷いながら、検討を重ね、事業を進めてきました。しかも「うがい・手洗い・マスク&スマイル」というぐらい、明るく前向きに。

そうした活動の結果を、当協会の2020年度年次報告書（概要版）として、ここに皆様にご提示させていただきます。各事業の報告をご覧ください。スタッフ及びボランティアが、コロナ禍の中、何に迷い、どのような検討をし、事業を進めてきたのか、ちらっと想像して頂ければありがたいです。

では、皆さま、よろしくお願い致します。



まつもとやすゆき
松本康之（理事長）

事務局長あいさつ

2020年度は新型コロナウイルスの影響で全く予想外の1年になりました。

国際交流フェスタ、多文化フェスティバル、世界のお化け屋敷など大勢が集まる企画はことごとく三密回避のため形を変えるか、中止せざるを得ませんでした。ホストファミリー事業ではそもそも留学生が来日できないという状況がありました。

その一方で、にほんご交流活動や外国ルーツの子どもの居場所事業などの定例事業は対面での活動・オンラインでの活動・休みとを織り交ぜながら何とかつながりの維持に努めてきました。相談事業は実施日の追加、体制の拡充を図ったほか、多様な団体・部署と連携して相談会を行うことができました。このほかパンソリライブの開催、市内公共施設と連携してとよなかシネコンを開催したり、「世界を食べよう」では家でも体験できるようレシピ集を発行しました。

コロナ禍の中、地域で暮らす外国人の状況を考えると決して十分とは言えませんが、今、何が必要か、何ができるか、しぶとくひねり出せたのではないかと思います。

今期からとよなか国際交流センター指定管理第4期がスタートします。秋にはセンターの空調設備改修工事が始まります。なかなか状況は落ち着きませんが、粘り強く、しっかり取り組んでいきたいと思っています。今年度もよろしくお願い致します。

やまのうえたかし
山野上隆史（事務局長／常務理事）



外国人をとりまく現状とATOMSの取り組み

とよなか国際交流協会
通称 **ATOMS** (アトムス)

基本理念

市民の主体的で広範な参加により、
人権尊重を基調とした国際交流活動
を地域からすすめ、世界とつながる
多文化共生社会をつくる。

事業の三本柱

- ① 多様な人々が尊重される地域づくり
- ② 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり
- ③ 学校とつながってつくる豊かな未来

●豊中市の外国人人口と国籍数 [2021年3月末]

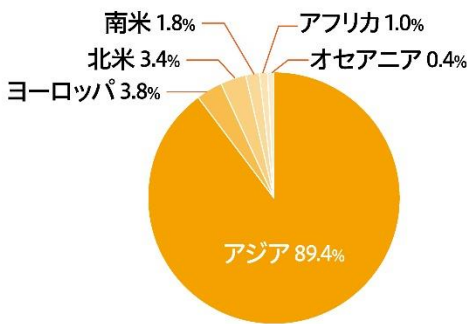
[人口] **6,118人**

*豊中市の総人口(408,736人)の約1.5%

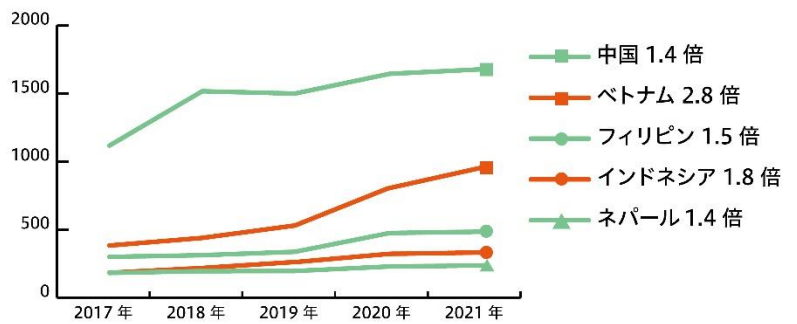
この5年で豊中市に暮らす外国人の数は
約30%増加しています
(参照) 2016年3月末の外国人人口 4,728人

[国籍数] **90ヶ国・地域**

■ 出身圏の割合 → 約90%がアジア出身

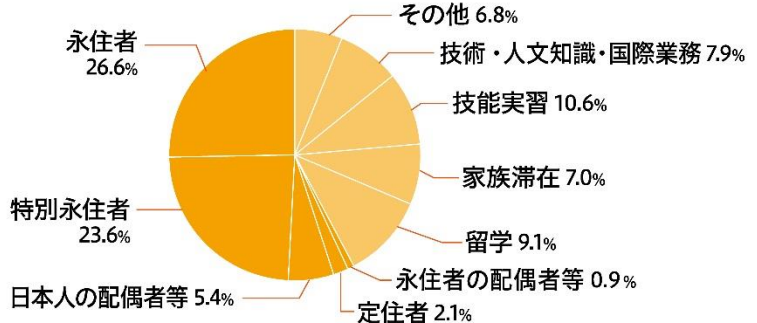


■ この5年で特に増加率が高かった上位5ヶ国



国・地域別の上位10	順位	国籍・地域	人数
1	韓国・朝鮮	1,900人	
2	中国	1,655人	
3	ベトナム	796人	
4	フィリピン	303人	
5	インドネシア	157人	
6	米国	156人	
7	台湾	134人	
8	ネパール	125人	
9	インド	111人	
10	タイ	78人	

■ 在留資格別割合 → 長く暮らす人が増えています



取り組み ①

外国人のライフステージに沿った多様な支援

- 乳幼児
 - 多文化子ども保育「にこにこ」... P.7
 - おやこでにほんご... P.14
- 子ども
 - こども母語(4言語)... P.6
 - 学習支援「サンプレイス」... P.6
 - 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい... P.7
- わかもの
 - 若者支援事業... P.8
 - 留学生・ホストファミリー事業... P.14
- おとな
 - 多言語での相談サービス(11言語)... P.10
 - 日本語交流活動... P.16
 - おやこでにほんご... P.14
- 高齢者
 - 多言語での相談サービス... P.10
 - Filipino Young at Heart's Club... P.12
(フィリピン人の中高年支援事業)

受賞歴

- 2016年 大阪NPOセンター CSOアワード CSO賞
- 2014年 第13回大阪弁護士会 人権賞
- 2013年 憲法記念日 大阪府知事 公共関係功労者賞
- 公益財団法人パソニック教育財団2012年度「子どもたちの「こころを育む活動」」奨励賞

◆(公財)とよなか国際交流協会は指定管理者としてとよなか国際交流センターの管理・運営を行っています。

Facebookページ

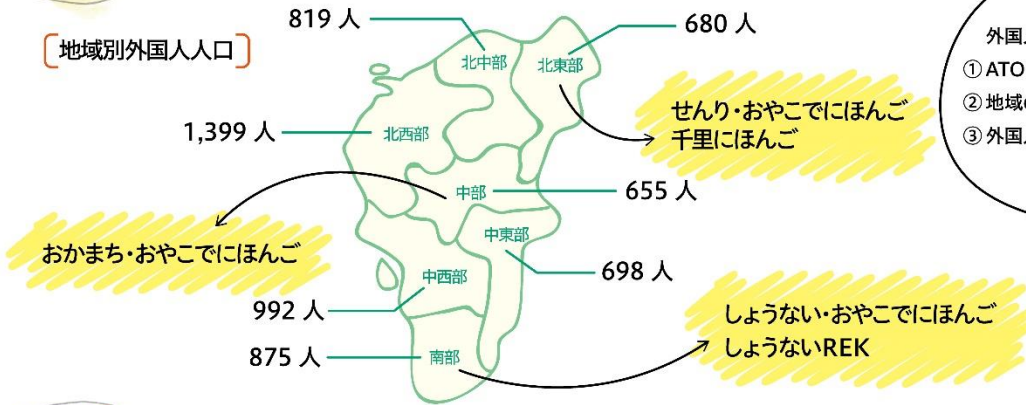
とよなか国際交流協会 で検索!



取り組み
2

センターから飛び出して実施している事業

地域別外国人人口



外国人人口は各地域で増えていますが、
① ATOMSの存在が充分知られていない
② 地域の人が外国人の状況や課題をよく知らない
③ 外国人が孤立している(ご近所とつながりがない)などの課題があります。



取り組み
3

さまざまな団体と一緒に取り組む活動

学校との協働

- 小学校外国語体験活動
- 多文化フェスティバル
- 講師派遣
- 多言語による進路ガイダンス
- ニュースレター『こくりゅうだより』表紙イラスト(池田高校、桜塚高校)
- 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

図書館との協働

- 「おやこでにほんご」 → 岡町、庄内、千里図書館
- 多文化子ども読書推進事業



地域のさまざまな団体との連携

- しょうないREK → 外国にルーツを持つ中学生のための進路相談会@庄内 など
- 豊中市スポーツ振興事業団 → 「サムライプロジェクト」(外国人のための武道体験)
- とよなか国際交流センター登録団体との連携 → 国際交流フェスタ など
- 共同デスク=6団体*が共同運営している事業(2019年度現在) → 中間支援組織間の情報共有・連携

※(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、(特活)とよなかESDネットワーク、(公財)とよなか国際交流協会の6団体。

取り組み
4

地域で活動する市民ボランティア

ATOMSで活動するボランティア 約360人

*昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止となった活動が多かったこと、新規ボランティアの募集をかけられなかったことが要因でボランティア数が大幅に減少しました。

にほんごボランティア:145人
ママさんボランティア:25人
大学生・高校生ボランティア:22人
外国人ボランティア:67人
ホストファミリーボランティア:90家族 他
賛助会員:個人会員146人、団体会員6団体

2020年度の大きな出来事



コロナ禍の影響

- 感染予防のため、またコロナに対する不安や負担から、ボランティアの人数は例年よりも大きく減りました。また、1回目の緊急事態宣言時(2020年4月~5月)には国際交流センターを休館にしたり、それ以降も貸館やイベント等の定員を減らしたり、また事業によっては参加者数も制限するなどしました。国際交流センターの利用者、協会活動への参加者も大きく減少しました。



コロナ禍での ATOMSの取り組み

- 2020年2月3日に災害時多言語情報支援センターを設置しました。
 - ・多言語での情報発信(1年間で約1,100件)
 - ・多言語での相談対応(1年間で約2,000件:例年の約2倍)
 - ※10言語でfacebookページを作成し、情報提供を行いました。
- 外国人の孤立を避けるためオンラインでの取り組みを進めました。
 - ・日本語交流活動、多言語相談サービス、おやこでにほんご、若者のたまりばなど。
- 豊中市福祉部や豊中市社会福祉協議会と連携して相談会を実施しました。
 - ・生活困窮、就労支援、食料配布など分野横断的に取り組みました。また、相談件数は例年の約2倍に増えました。



2021年度に向けて

市と協働でコロナ禍が外国人住民に与えた影響について調査研究を進め、この間の取り組みについて検証を行います。そして、外国人とその支援者、さらに様々な関係機関・団体とのネットワークの構築を進めていきます。

こども
サポート
事業

学習支援・サンフレイス

外国にルーツを持つ子どもたちのための居場所づくり。大学生ボランティアが運営しています。
毎週日曜日 13:00~15:00 (第一日曜日は休み)

ボランティアより

2020年度を振り返って

サンフレイスは子どもたちがやりたいことを全力でできる場所です。学生ボランティアのお姉さんやお兄さんと一緒に遊びやおしゃべり、勉強など何でもできる場所です。

2020年度は新型コロナウイルスの影響にもかかわらず、感染対策を徹底したこともあり多くの子どもたちが参加してくれました。それぞれの子どもたちが自分らしく、毎回来たくなる居場所づくりに今後も励んでいきます。

2021年度に向けて

2020年度に行ったイベントはボランティア考案のアイデアを基に進めたものだったので、2021年度にはイベントだけではなく、活動においても子どもたちのやりたいことを取り入れた活動を行っていきます。



写真右) 今年も卓球が大人気でした！
写真左) 自由に、ありのままに過ごせる場所です

こども
サポート
事業

こども母語

外国にルーツをもつ子どものための母語教室。中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語を開講しています。講師はそれぞれのルーツをもつ若者です。(ポルトガル語、タイ語は現在休講中)
第2、第4日曜日 10:00~12:00

ボランティアより

2020年度を振り返って

2020年度の活動は新型コロナウイルスの感染拡大により例年のように各母語教室との交流など、充実した活動はできませんでした。その中でも子どもたちの興味・関心に基づいた新しい教材を使い、学べる範囲を広げながら母語に触れることができました。同時に母語を学ぶだけでなく、子ども同士が友だち作りをできる場所としても提供できました。

2021年度に向けて

普通の教室で母語の習得だけではなく、自国の文化や歴史などにも触れる機会を作りたいです。また子どもたちが楽しく学べるようにゲーム感覚でできる学びのスタイルも作っていきたいです。



写真左上) 母語教室を運営するのは、外国にルーツを持つ大学生スタッフです。
写真右上) 中国語の母語教室の様子
写真左下) 絵カードや絵本など、いろいろな教材を使って母語を学びます

こども
サポート
事業

多文化子ども保育「にこにこ」

外国にルーツをもつ乳幼児のための保育活動。保育ボランティアが運営しています。
毎週木曜日 13:30～15:30 / 金曜日 10:30～12:00

ボランティアより



2021 年度に向けて

2021 年度は活動が再開して、何の心配もなく笑顔で子どもたちと遊べる日が来ることを望んでいます。保護者が安心して子どもたちを預けられるように環境を整えて、ボランティア全員で子どもたちが来る日を待っています。今以上に子どもたち、保護者の方同士のコミュニケーションの場となり、またボランティアが日本における子育ての悩みを聞いてあげることができたらと思います。

2020 年度を振り返って

今年度は通常の活動がほとんどできず、とても寂しい一年でした。そのことによって対面の保育がいかに大事か思い知らされました。一時再開した時には子どもたちも戻ってきて、うれしい時期もありました。年齢も性別も違う子どもたちが、おもちゃや遊具を譲り合い、助け合う姿は大人も見習わない、と思いました。子どもたちが日々成長する姿はとても励みになります。保護者に安心して預けてもらえる様、環境を整え、おもちゃなどの消毒を行い、安全に留意し活動をしたと思います。

写真上) 保育ボランティアがいつも一緒です

写真左下) 回数を重ねるごとに一緒に遊ぶことができるようになってきました。

写真右下) 遊具で遊ぶの大好き

こども
国際
事業

韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮にルーツをもつ子どもたちが集まり、民族講師（ソンセンニム）や友達（チング）と自分たちの歴史や言葉、遊びなどの文化を学んでいます。毎月第3土曜日午前中に開催。

共催団体の豊中市在日外国人教育推進協議会の先生方より

2020 年度を振り返って

コロナ禍での活動は制約が多かったです。今まで当たり前のようにできていたことができず、月1回のつどいは不定期になってしまいましたが、昨年40周年を迎えた「ハギハッキョ」は、半日開催ではありましたが、今年度も行うことができました。同様に、半日開催になってしまった多文化フェスティバルにも、例年通り参加することができました。

いつもと違う日常の中での活動を通して、一緒にいる時間は少なくとも、つどえる場を保障することが、何よりも大事だと思いました。細くなっても続けたことが、次へつなげることになっていると信じています。



2021 年度に向けて

相変わらず制約が多くなりそうですが、月1回のつどいの場が、子どもも大人もごちゃまぜになって、ワイワイ言いながら遊んだり学んだりできる「わちゃわちゃとした場」であり続けられるようにしたいです。



写真上) こども・ボランティアみんなで体を動かしながら楽しく学びます

写真左下) ゲームを通して韓国語を学びました

写真右下) お正月のあいさつの練習

多文化こども
エンパワメント
事業

若者支援事業

外国にルーツをもつ若者のための居場所づくりをさまざまな角度から行っています。15歳以上の外国にルーツをもつ若者が中心となり、国際交流センターでの活動だけでなく、地域で色々な活動に取り組んできました。

コーディネーターより

2020年度を振り返って

外国にルーツを持つ若者の実態調査や、ネパール人の子ども・若者交流会なども実施しました。実態調査はまとめの報告論文を作成しました。「たまりば」では感染予防を図りながら、フィジカル・ディスタンスを保ったレジンや料理づくりなどの対面型の開催やリモート開催、遠足などをしました。コロナ禍だからこそ、コロナ以前からあった、「しんどいこと」が浮き彫りになったと思っています。家族・学校・職場だけじゃないつながりが大切で、「場が開かれていること」の重要性を再認識させられた1年でした。

2021年度に向けて

感染予防を図りながら、どんなかたちであっても「場が開かれていること」を大切にしたいと思います。また、調査で明らかとなった諸課題を解決できるよう、今後の活動や支援について考えていきたいと思います。



写真上) マカロン作りに挑戦

写真左下) フィリピン食材店へのフィールドワーク 写真右下) たまりばでカタリバ

多文化こども
エンパワメント
事業

外国人のこども白書 子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツを持つ子どもたちを支援する関西の個人・団体によるネットワーク活動

2020年度を振り返って

対面でのミーティングのほか、感染状況に応じて、オンラインでもミーティングを行い、メンバー間で情報交換や視察、企画の検討を行いました。企画について、文部科学省の担当者を招いたシンポジウムの実施、大阪市教委主催セミナーの企画・講師の担当や毎年行っている「ともに生きるシンポ part4 外国につながる若者の支援を実践・実績から学ぶ」をオンラインで実施しました。



2021年度に向けて

定期的な情報交換などのほか、シンポジウムやセミナー、視察などで学んだことをもとに、少しずつネットワークでの取組を進めていきたいと思います。

写真左) 研修会を大阪市教委からの依頼で企画、運営。
写真右) 若者の就労支援について考えるため、視察研修も実施しました。

学校とつなが
ってつくる豊かな
未来事業

小学校外国語体験活動事業

豊中市のすべての小学校（全41校）の3年生～6年生のクラスに、地域に暮らす外国人ボランティアを派遣して、ルーツのある国の文化や言葉を紹介します。豊中市教育委員会の委託事業。

2021年度に向けて

今年度は新しい形の研修を実施して反響が良かったので、来年度以降は更に人権・多文化共生につながるような研修を積極的に取り入れていきたいです。学校で行う事前打ち合わせの重要ポイントやその他事業の流れなどをコーディネーター内でもっとしっかりと共有して、外国人ボランティアの不安や緊張などを少しでも軽減していけるように工夫していきたいと思っています。



写真上) 授業の様子。ベラルーシについて。
写真中) 授業の様子。中国について。
写真下) 外部講師を招いて実施した外国人ボランティア研修の様子。ワークショップを通して様々な意見交換ができました。

コーディネーターより

2020年度を振り返って

新型コロナウイルスによる休校の影響で、授業実施希望の学校や学年が、例年に比べて減ったものの「英語以外の外国語」の希望数がほぼ変わらなかったことから、このプログラムの大切さを認識して下さっている先生が沢山おられると感じて心強かったです。大変な時期だからこそ、小学校外国語体験活動を通して子どもたちが「すぐ近くに外国人が住んでいること」を知り「違いを認めることができる」きっかけとなるプログラムになって欲しいと改めて思っています。

NEW

多文化こども
エンバワメント
事業

学習日本語「こんぱす」

日本語指導グループ「とよなか JSL」が運営主体となって新たに日本語指導を開始。外国にルーツを持つ子どもの日本語教室を毎週火曜、金曜 17:00～19:00 に実施しています。学齢超過の若者の日本語サポートと高校進学支援も行っています。

ボランティアより

2020年度を振り返って

2020年度、コロナ禍の中「学習日本語こんぱす」として活動を再開しました。海外との人的交流が極端に減った中、参加する子どもがどれだけいるのかといった中でのスタートでした。そんな中、子ども同士の会話ではなんとか通じていても、授業や社会生活の中では十分に日本語が理解できていないと感じる子どもは、まだまだいることがわかり、日本で生活、進学していく子ども達の手助けになればと思っています。

2021年度に向けて

子どもの日本語における問題点はそれぞれ違います。それらを的確に見つけ出し、それぞれに応じた指導をして将来の学校生活につなげられるようにしていきたいと思っています。



写真上) 1対1でしっかり日本語を学びます
写真下) 夏にはオンラインにも挑戦しました。

おとな サポート 事業

多言語相談サービス事業

外国人市民が地域で安心して生活できるよう、必要な情報の提供と相談サービス（電話、面接）を多言語で行う。相談体制：月/火/木/金/土曜日 11時～16時/日本語、英語、フィリピン語、タイ語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語（事前予約要）、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

2020年度相談実績について

2020年度の相談件数は1,848件。今年度から相談日を増設したことにより、相談件数は大幅増となった（前年度952件）。

年度当初の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言時に、来館や面談をできる限り避けるため、リモート対応を導入したが、宣言解除後も、相談者の希望や状況に応じて、リモートやSNSにより相談対応を行った。また近年は、来談経緯が口コミからSNSに変わり、SNSによって当協会や支援を知り、アクセスしてきた相談が、社会情勢とも相まって、今年度は顕著に増加している。

新型コロナウイルスに関わる相談は525件（28.4%）。その半数はネパール、フィリピン国籍で占めた。在留資格では、永住者・配偶者・定住者が計37.1%、家族滞在が18.5%、技能実習と留学が計20.3%。永住者・配偶者・定住者の半数はフィリピン国籍で（52.8%）、支援施策の手続きに関する相談が多く、活動に基づく在留資格の半数はネパール国籍で（54.7%）、飲食業を営むネパール人とその家族、留学生の、生活困窮と求職の相談が多かった。

▽相談者の居住地：例年と傾向は変わらない
豊中市 49.2%、大阪府下全域（豊中市含む）約85%、兵庫県約4%、中部、関東、九州、東北、北海道、海外からの相談もあった。

▽国籍：ネパールの増加が顕著
フィリピン 25.9%、中国 18.5%、ネパール 16.6%、韓国、ベトナム、タイがそれぞれ約5%。ネパールの相談の増加が顕著である（前年度約10%）。

日本国籍だがルーツが日本以外を持つ人が61件。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は36件。外国籍だが日本語で相談を行ったのは378件。44か国から相談があった。

▽在留資格：家族滞在がさらに増加
身分又は地位による在留資格計43.9%：
配偶者 19.6%、定住者 12.4%、永住者 11.9%
活動に基づく在留資格：家族滞在 18.8%、その他



豊中市包括支援プロジェクトチームが主催する「くらしを守る総合相談会」に参加。外国人からの相談が多数寄せられました。

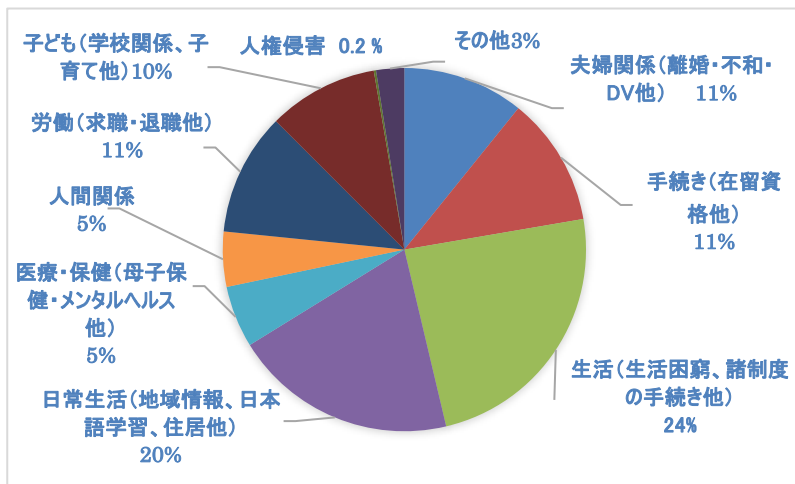


グループスーパービジョンを実施。スーパーバイザーは山中京子さん（コラボレーション実践研究所所長）。



写真上・右）リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の「外国人のための1日離婚電話相談ホットライン」も4年目となりました。今年は大阪弁護士会主催で、年1回の活動として定着してきました。全国から相談が寄せられました。





2020 年度相談内容別

韓国人コミュニティの交流会での集合写真。
「久しぶりに集まって、家庭のこと、社会のことについて、思う存分語り合えてとても楽しかった！」
今後も感染対策を徹底しながら、可能な範囲で交流の機会を確保していきたいです。



「日本語支援グループ・むすびめ」と協会で実施している日本語検定サポートは、毎年日本語能力検定試験前に実施しています。今年度は12月の試験対策のみ開催。実施回数のべ13回（写真は過去のものです）

2021 年度に向けて

- ・ 困難な時なので、相談者とのつながりはより一層強くしていきたい。
- ・ 多言語スタッフの体制の充実
- ・ スタッフの研修の充実（在留資格などベースになる知識に加え、給付金や貸付金の制度に関する情報のアップデート、相談業務とプライベートの線引きについて、燃え尽き症候群の防止など）

【相談サービス事業における対応について】

(1) ケース・ワークと他機関とのネットワーク（連携）

相談者の状況や相談内容が、諸制度を利用して問題の解決をはかる必要がある場合、ケース・ワークを行う。

豊中市在住の相談者について、相談者が他機関に関わっている場合、あるいは問題対応に他機関との連携が必要な場合は、関係機関で情報を共有したり協力するなど、より適切に対応できるようにする。

ケース・ワークが必要だが、相談者が遠方に住んでいたたり、当協会が直接の関係機関として関与しえない場合などは、相談者が住む地域の援助機関と連携をとる。その地域で多言語の援助がない場合は、当協会スタッフが相談者に対し、彼/彼女の状況を説明したり、相談者の希望や考えを援助機関に伝えるなど、仲介的役割を担う。

他機関では多文化対応が不十分な場合があるため、相談者の状況についてスタッフが機関に説明し、適切な対応を依頼する。また相談者は、どのような支援が受けられるか十分理解できないことが多いため、スタッフが相談者の母語で説明し、相談者の安心や納得を促す。その地域で多言語対応が可能な場合でも、相談者がスタッフへの相談を望む場合は、相談者の不安を支え、相談者が適切な支援を受けられるよう支援する。

(2) 心理カウンセリング

相談者の悩みや問題について、相談者自身の内面に焦点を当てる必要がある場合は、心理カウンセリングを行う。相談者が自分の内面に目が向けられるよう、受容・共感・承認的応答を行い、自分の気持ちや考えに気づき、自分なりの決定や選択ができるよう支援する。

(3) 情報提供等

日常生活における情報や、行政手続等に関する情報など、相談者が法・制度や地域情報等を知らなかったり、理解していない場合は、情報提供する。

例) 公営住宅の申込み、交通事故の対応、病院の情報、健康診断の結果について、確定申告、求職時の書類記入等

(4) 安心して集えるコミュニティづくり

センターでの他事業を利用する来館者に対し、同国・母語の仲間と出会い、安心できる環境を提供する。コミュニティ内で集う人が安心できるようなコミュニケーションに注意したり、ニーズに対応するなどを行った。必要であれば、随時個別相談として対応し、また逆に、相談に訪れた人に出会いの場へ促すなどを行う。

学校とつなが
ってつくる豊か
な未来事業

国際教育

「多文化フェスティバル」、帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業での「多言語による進路相談会」など、学校や教育委員会との連携により、外国にルーツを持つ子どもたちをサポートしています。

2020 年度を振り返って

新型コロナウイルス感染症対策のため、「多文化フェスティバル」も「多言語進路相談会」も開催があやぶまれましたが、どちらも工夫を凝らし無事に開催することが出来ました。参加者は少なかったですが、「多文化フェスティバル」は例年に比べて子ども同士のつながりが深まったように感じます。豊能ブロック協議会の構成団体として実施した「多言語進路相談会」も、今年は中学3年生のみが対象となりましたが、外国にルーツをもつ子どもの進路保障の貴重な場となりました。



写真左) 協会のマスコットキャラクター「コモとスース」作りに挑戦
写真右) 子ども同士で自己紹介ワークショップを行いました



2021 年度に向けて

「多文化フェスティバル」について、改めて開催内容や仕組みづくりをしっかりと考えながら、現場の先生とも協働して開催していきたいと思っています。「多言語進路相談会」は昨年度は対象とならなかった中学2年生以下の子どもたちへの進路保障ができるよう、学校や教育委員会等の関係機関との連携をしっかりと図っていきたいと考えています。

おとな
サポート
事業

Filipino Young at Heart's Club (FYAHC)

2016 年度に（公財）大阪コミュニティ財団の助成を受けて実施した外国人高齢者の調査をふまえて、相談サービスで利用者が最も多いフィリピン人を対象として、40 歳以上の中高年向けの居場所を 2017 年 5 月から「Filipino Young at Heart's Club」として毎月 1 回程度開催しています。

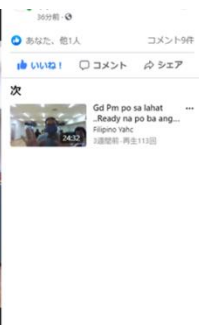
2020 年度を振り返って

2020 年度はコロナの影響で例年行っていたピノイフェスタやクリスマス会などは実施できませんでした。

そんな中、秋には離婚・再婚をテーマにしたセミナーをオンライン（対面・Zoom・Facebook）で実施しました。このセミナーにはグループメンバーだけではなく、フィリピン行政関係者の参加もあり、ヤングハーツの活動が広く知られるようになりました。



写真上) セミナーとズンバは対面に加え Facebook と Zoom でライブ配信をしました。写真右) ズンバの様子



2021 年度に向けて

年金や日本とフィリピンの法律にかかわるセミナーを実施したいです。また、コロナ渦でメンタルダウンしているメンバーもいるので、状況をみながら対面での活動を実施して元気を取り戻したいと思っています。



おとな サポート 事業

防災事業

災害の多い日本で外国人が安心して暮らせるように、大規模災害時の外国人支援につながる啓発活動を行い、災害時の支援体制を整備していく取り組みを各機関と連携しながら行っています。

2020年度を振り返って

災害時外国人多言語情報支援センターの業務として積極的に多言語での情報発信を行いました。また、新型コロナウイルスへの対応に限らず、台風や地震への防災意識を高めるため、外国人向けの防災セミナーを実施しました。このほか、災害時に事務局が被災し、十分に機能できない状況での対応も視野に入れ仙台市、武蔵野市、北九州市の国際交流協会との交流も始めています。



外国人のための防災セミナーの様子。講師は大阪大学の塚本俊也さん。

2021年度に向けて

外国人への防災訓練はセンターで行うだけでなく、アウトリーチを行い、外国人コミュニティと協働で取り組むなどの工夫を行っていきます。また、多言語での情報発信から一歩踏み込み、どうやって届けるかという視点から、発信媒体などの多様化やつなぐ人の確保などを進めていきたいです。

こども 国事 事業

平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

小・中学生のための国際理解プログラム。地域に住む外国人を講師に迎えて交流しながら、様々な国、地域について学びます。

2020年度を振り返って

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため開催時間を短縮し、韓国とネパールをテーマにした2回しか実施できませんでした。

各回とも、動画や写真、その国の伝統的な遊びや工作などを通じて文化を体験し学びました。子どもたちは講師と積極的に質問などのやり取りをし、楽しみながら異文化体験をしていました。

2021年度に向けて

2021年度も体験を通じて多文化共生への理解がより深まるようなプログラムを企画・実施していきたいです。昨年度できなかった、お料理体験やフィールドワークも可能な状況なら実施したいです。



写真左上) ネパールの国旗作りの様子

写真右上) 子どもたちが作ったネパールの国旗

写真左下) 韓国のおそびチェギ(羽蹴り)作り

写真右下) 韓国のおそび タンタモッキ(陣取りゲーム)にチャレンジ

留学生
ホストファミ
リー事業

留学生・ホストファミリー事業

留学生とホストファミリーのホームビジット型の交流活動。半年から1年の期間交流しています。運営は「ホストファミリー世話人会」が中心になって、様々なイベントや日本文化体験事業も開催しています。



2021年度に向けて

コロナが収束したらホストファミリープログラムをもっとたくさんの方に知ってもらい、国際交流にもっと興味を持っていただけるよう努力していきたいと思っています。

世話人会の様子

世話人会より

2020年度を振り返って

2020年度は大阪大学とJASSOの留学生との出会いはありませんでした。月1回の世話会には活動していますが、なかなか前向きな議題がありません。その中でホストファミリープログラム再開後の交流希望についてボランティアのみなさんにアンケートをとりましたところ、約半数位は希望するという答えが返っていて、とても嬉しく思いました。早くコロナが収束して、留学生との出会いができることを切に願っています。

にほんご
交流活動
事業

しょうない・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：庄内図書館)



写真) ZOOMでのおしゃべり会のようす



ボランティアより

2021年度に向けて

しょうないは外国人ママもボランティアスタッフも少ないので、来年度はメンバーを増やして、定期的に活動ができるようにしたいです。

2020年度を振り返って

なかなか直接会っての活動はできませんでしたが、オンラインでおしゃべり会をしたり、みんなでバランスボールをしたりしました。コロナ禍で人と会う機会が少なくなっていたので、オンラインであっても交流ができて近況などが話せてリフレッシュできました。

にほんご
交流活動
事業

おかまち・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：岡町図書館)

2020 年度を振り返って

今年度はやっと秋頃に屋外(公園)での活動再開となりました。新たなボランティア募集も新たな外国人ママの参加希望もなく、昨年度と同じ顔ぶれでの活動になりましたが、ボランティアと外国人ママ双方にとって、子どもたちを遊ばせながら会って話せる貴重な癒しの場になっていました。色々と試行錯誤しながらも、細々と活動をつづけることが出来てよかったです。

ボランティアより



2021 年度に向けて

こんな状況ですが、新しいボランティアさんと新しい外国人ママの参加に期待したいです。また、屋外活動がメインとなりそうですが、季節の行事なども取り入れて工夫して活動したいです。



写真上) コロナ前のお料理会の様子、いなり寿司
写真下) 屋外での活動、欧州のクリスマス飾り制作&完成品

にほんご
交流活動
事業

せんり・おやこでにほんご

子育て中の外国人女性のための居場所づくりを市立図書館との共催で行っています。
毎週火曜日 10:00~12:00 (会場：千里図書館)

2020 年度を振り返って

コロナ禍で対面活動の制限が厳しい中でも、ZOOM を利用したオンライン活動を定期的に行い、地域の外国人ママたちとのつながりを保てるよう工夫しました。また、図書館での活動は感染防止対策を心がけながら活動しました。対面とオンラインのやりやすさ、やりづらさを経験しながら、状況に応じて柔軟に対応しました。

ボランティアより



2021 年度に向けて

外国人親子が日本で楽しく暮らせる居場所づくりに貢献していきたいです。引き続き、対面とオンラインを活用しながら、子育ての悩みや疑問等を気軽に話せるつながりを作り、その活動を発信していきたいです。



写真上) ZOOM でのオンライン活動。各自拾ってきた落ち葉や家にある廃材でお面を作りました。
写真下左) 親子で満開の桜を作りました。お花見しているみたいで楽しかったです。
写真下右) 気候の良い日はお外遊びも。

にほんご
交流活動
事業

千里にほんご

2017 年度からスタートした日本語交流活動。千里地域連携センターとの共催で、豊中市東部・千里地域での外国人の居場所、交流の場づくりを行っています。毎週木曜日 10 時～11 時 30 分。(会場：千里公民館、千里図書館)

ボランティアより

2020 年度を振り返って

コロナ禍での対面活動の難しさ、人とのつながりの大切さを痛感した一年でした。会場の一つである千里図書館集会室が使用できず、9 月から 11 月までの間、千里公民館にて隔週で活動してきました。ボランティア間の連絡や意思決定にスピーディーさが足らなかったことや、オンライン活動も早くに始めたほうがよかったとも感じました。



2021 年度に向けて

2021 年 5 月よりオンライン活動も始めることになりました。協会のサポートをうけながら、Zoom の操作方法等を学んでいます。学習者の皆さんがオンラインでも安心して参加できる活動にしていきます。



活動の様子

NEW

持続可能な
地域づくり
事業

南部にほんご/オンラインにほんご

2020 年度から開始。市南部の働く外国人向けに、庄内公民館とオンラインの教室を実施しています。南部にほんご：毎週土曜日 10:00～12:00 / オンラインにほんご：毎週木曜日 19:00～20:00

2020 年度を 振り返って

近年、市南部地域に住む外国人が増加している一方、その人たちが参加できる日本語の活動が多くないこと、またコロナの影響で対面での活動に参加できない方が増えていることを念頭に、10 月から 1 月までの 4 か月間、庄内公民館とオンラインでの活動を試験的に実施しました。



庄内公民館で行われた活動の様子

2021 年度に向けて

定例の事業として、南部日本語（毎週日曜日 13 時～15 時 於庄内公民館）、オンライン日本語（毎週木曜日 19 時～20 時）を実施していきます。



ベトナムの「教師の日」には、参加者からサプライズプレゼントをいただきました

にほんご 交流活動 事業

もっともっとつかえるにほんご

日本語交流活動。毎回テーマを設定しての教室形式で実施しています。学習者にはそれぞれボランティアがサポートにはいり、個別対応もしています。毎週月曜日 10:00~12:00

2020 年度を振り返って

コロナ禍、2度の活動中断により、学習者との交流も途絶え、皆がどのように過ごしているのか思いを馳せる日々でした。活動再開時には学習者の元気な顔を見ることができ、学習者にもコロナ禍をどう過ごしていたか？コロナでできなかったことは？など学習者に寄り添うテーマも取り上げました。昨年末には、オンラインでの活動も開始しました。

不慣れな部分もありましたが、新しい手法に取り組んだ意味のある年でもありました。

ボランティアより



活動の様子

2021 年度に向けて

学習者、ボランティアの安心、安全を考え、柔軟な対応で活動を進めていきたいと思えます。新規参加も増え、その多様性、期待感も肌で感じており、楽しく過ごせる時間の中でお互いに伝えあえる交流をしたいと思えます。

にほんご 交流活動 事業

とよなかにはほんご・木ひる

日本語交流活動。レベル別、目的別でのグループ活動です。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK! 毎週木曜日 13:30~15:20

2020 年度を振り返って

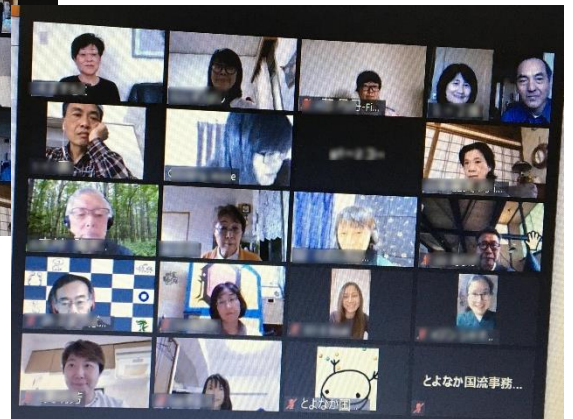
これまで普通にやっていた学習活動や交流のためのイベントが縮小されましたが、その中でも学習者さん、ボランティアのつながりが途切れないよう、対面で活動ができないときにはオンラインも取り入れました。現在学習者さんは 30 人、ボランティアは 20 人程。グループに分かれて用意したテキストを使って学びながら、話題を広げ会話を楽しむことを大切にしています。

年 4 回発行されるニュースレターが、お互いの理解を深めることに役立っています。

ボランティアより



写真) ZOOM での活動の様子



2021 年度に向けて

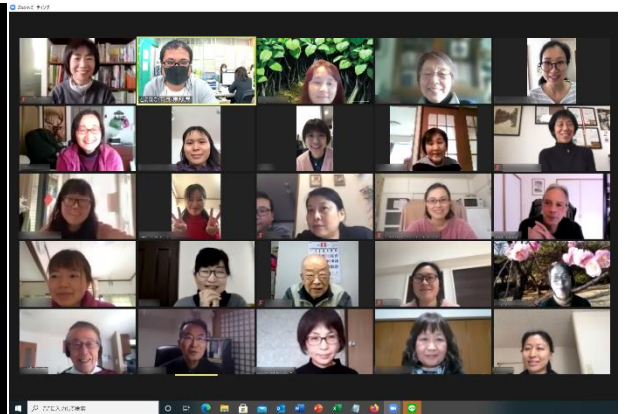
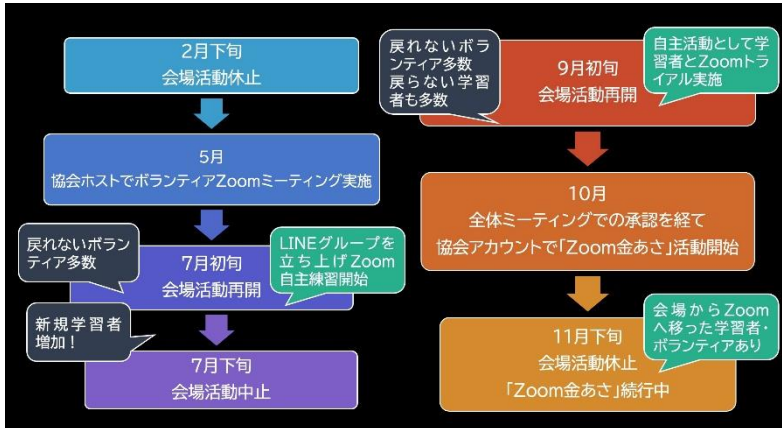
安心して活動ができるようになる日のために、今準備中です。

学習者、ボランティアが互いに意見を出し合いながら、充実した楽しい学習交流活動ができるよう、工夫していきたいと思えます。ボランティアのスキルを高め合うことも勿論しっかりと。

にほんご
交流活動
事業

とよなかにほんご・金あさ

日本語交流活動。同じ時間帯に多文化保育もあるので子連れでも OK!
毎週金曜日 10:30~12:00



写真左) コロナ禍の金あさの動き 写真右) ZOOMでの活動の様子

ボランティアより

2020年度を振り返って

金あさは、少人数(または個別)での学習や会話、またミニ交流会や季節の行事を通して、参加者相互の交流を実施してきました。

2020年、継続的な会場活動が難しい状況を受け、オンラインでの「Zoom金あさ」を開始。対面(会場)とオンラインの二本柱を持つことで、参加を希望した学習者・ボランティアは、活動の継続ができました。

2021年度に向けて

従来の会場活動に加え、オンライン活動の充実も図り、社会状況が変化しても、つながり・交流・学習が途切れないよう、ボランティア同士協力し取り組んでいきたいです。

にほんご
交流活動
事業

にちようがちゃがちゃだん

平日働く人たちがも参加できる日本語交流活動。参加者のさまざまなニーズに対応しています。
毎週日曜日 10:00~12:00 (第一日曜日は休み)



ボランティアより

2020年度を振り返って

2020年度は新型コロナの影響で安定した活動ができない時期が長く続きました。オンラインでの活動は当初ボランティアのハードルが高かったのですが、レクチャー会などを経て、オンラインでの活動が安定してきました。

2021年度に向けて

本来の会場での活動ができるようになれば、感染症対策をしっかり実施したうえで再開したいです。それまではオンラインで参加者同士のつながりが途切れないようにしていきたいです。

多文化共生推進事業

多文化共生推進事業

日本人/外国人のために、参加しやすく、異文化理解を促進する様々な取り組みをおこなっていきます。



2021年度に向けて

- 【世界をたべよう】
レシピ本の広報と、地域のお店とのコラボ企画などでできればいいと思っています。
- 【日本文化体験】
市内の施設や団体と連携をしながら、協会やセンターを知らない外国人参加者とつながりたいです。
- 【多文化・多言語セミナー】
広い世代に関心を持ってもらい参加いただけるような企画を考えていきます。
- 【国流シネマカフェ】
夏休み企画『とよなかシネコン for Kids』『国流シネマカフェ』など、映画を通して社会問題を考える企画を開催予定です。



写真上) 安聖民パンスリライブ
写真下左・中) シネコンと国流シネマカフェちらし
写真下右) 盆ダンスの様子

2020年度を振り返って

- 【世界をたべよう】
プログラムを開始した2014年度から2019年までに作ってきた料理のレシピをまとめたレシピ本を作成しました！(p.25 TOPICSをご参照下さい)
- 【日本文化体験】
今年度は身体接触を避けるため武道体験はできず、「盆ダンス」と「ニュースポーツ」を実施しました。
- 【多文化・多言語セミナー】
「パンスリライブ」を開催。定員をはるかに上回るお問合せがあり、協会やセンターを知らなかった方にも来ていただきました。
- 【国流シネマカフェ】
『国流シネマカフェ』を2回開催しました。他にも、映画を通して公共施設が取り組む課題や社会問題を考えるきっかけにしようために市内の公共施設・協力店舗とのコラボ企画『とよなかシネコン』を企画・開催しました。

持続可能な人づくり事業

ボランティア養成・研修/哲学カフェ

- ・時代に則した学びの場、および対話の場を創造し、多文化共生社会をつくる人づくりを行っています。
- ・哲学カフェ (大阪大学臨床哲学研究室の協力、カフェフィロとの共催)
- ・日本語ボランティア養成講座の開催 (年1回)

2020年度を振り返って

【ボランティア研修】
「まるわかりセミナー 多文化共生編」は、新型コロナウイルスの感染の感染拡大を踏まえて、オンラインで開催しました。
今年度、コロナの影響で多文化子育て支援ボランティア養成講座は実施できませんでした。また、例年秋に実施している日本語ボランティア養成講座も3月に延期し、オンラインで実施しました。

【哲学カフェ】
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での活動がままならない中、何とか活動を実施できないかと模索する期間が続きました。そして2月に、哲学カフェとしては初めてとなるオンラインでの活動を実施することができました。

2021年度に向けて

【ボランティア研修】
まるわかりセミナー2021年度は、例年開催している入門的な内容のほかにもバラエティー豊かな内容でお届けしたいと思います。
ボランティア養成講座については、2021年度は対面での研修を検討しながら、確実に実施できるオンラインでの研修も充実させていきたいと思っています。

【哲学カフェ】
コロナの終息が見込めない中、安定して活動を実施するために、オンラインでの可能性をさらに探りたいと思います。

聴いてなつク!まるわかりセミナー

多文化共生編

新型コロナウイルスは人の移動やつながりのあり方を大きく変えました。この講座では、現状、さらには未来や夢の中で起きている形などを紹介しながら、「外国人と共生するとは?地域や職場や学校で何が出来るか?」などについてお話しします。関心がある方はぜひご参加ください。相談や問い合わせがある方も大歓迎です!お待ちしております。



【講師紹介】
山内 聖徳 (公明) とよなか国際交流協会 常務理事・事務局長
大阪大学経済学部の1期生。修士・博士。元NHKアナウンサー、NHK国際放送局勤務。大学では本学で学んだ。大学で学んだことを実践で活かす。その後、地元の日本語教育のボランティア、多文化共生推進委員の経験。文化・教育 (日本語教育) を軸に、2014年より現在、とよなか国際交流協会にて働く。

日時: 2020年10月30日(金) 13:30~15:00
開催場所: ウェブ会議システムZOOMにて開催
※お申込みのあとに、事務局よりメールにてZOOMの招待をお送りいたします。

定員: 30名
申込方法: メールにて申込 (宛先: atoms@t.zaq.jp)

主催: 問合せ: とよなか国際交流センター
(公益財団法人) とよなか国際交流協会
電話: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375
E-mail: atoms@t.zaq.jp URL: http://a-atoms.info
※本講座は任意参加です。お申し込み後、キャンセルはできません。

持続可能な
地域づくり
事業

- ・持続可能な開発のための教育の10年(ESDとよなか)
- ・メディアリテラシー市民ゼミナール・講師派遣
- ・EPA 介護福祉士候補者のための日本語・通訳派遣

【ESD とよなか】国連持続可能な開発のための教育の10年(2005年～2014年)の理念に基づき、次世代に渡す地域づくりのための多様なセクターが連携するための取り組み。【メディアリテラシー】メディア分析を通じて「外国人・日本人」の捉えられ方、考え方を見直す参加型の講座。【講師派遣】地域の学校・諸団体への講師派遣。【EPA 日本語】介護福祉士候補者のための日本語サポート

2020 年度を振り返って

【ESD連絡会議】

通常の会議のほか、セミナーやヒアリングで今後の取組について考えました。

【メディアリテラシー入門講座】

今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンラインで実施し、9人の方が参加されました。テーマは昨年にひきつづき「子どもとメディア」で、話題のアニメなどを取り上げました。オンラインということもあり、映像の分析などの作業の時間が十分にとれませんでした。

【講師派遣】

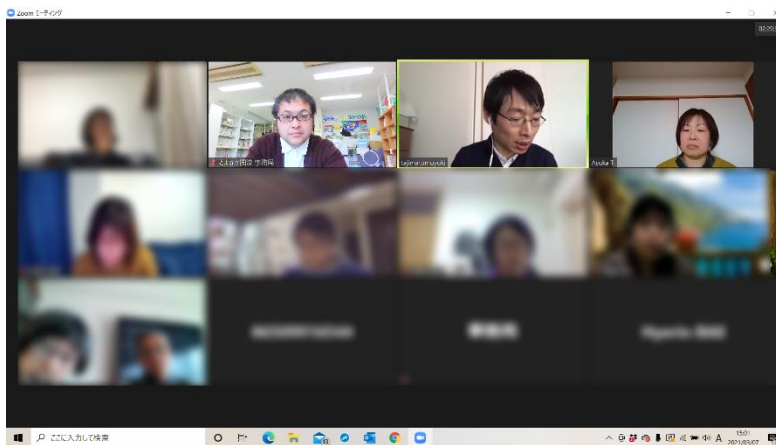
2020年度は豊中市内外の学校をはじめ、人権研修等、のべ24件、44人が各機関に出向いたり、オンラインで実施しました。

【EPAST】

2017年12月から始まったEPAによる介護福祉士候補生の国家資格取得のための支援は2021年1月の国家試験で一連の課程を終えました。残念ながら合格には至りませんでしたが、この間に行った日本語学習支援は民間の団体と連携しながらセンター外に活動場所を置いた初めての試みとして、また介護現場の実情を垣間見ることができた点で非常に意義深いものとなりました。地域の外国人に対し、働く現場でサポートできたことは今後の活動につながる貴重な経験になったと思います。

【通訳派遣】

中間支援組織等からの依頼に応じ、通訳者を派遣しました。

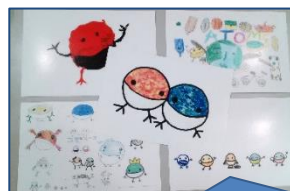


メディアリテラシー入門講座の様子



多言語スタッフが当会の外国人高齢者支援に関する報告をしました (@愛知県)

※ESD とよなか連絡会議：赤ちゃんからのESD、市民環境会議アジェンダ21、とよなか人権文化まちづくり協会、とよなか国際交流協会、男女共同参画推進財団、豊中市社会福祉協議会、教育委員会(社会教育課)、環境政策課、千里文化センター、人権政策課が構成メンバーのゆるやかなネットワーク



コモとスースのポストカードセット
(5枚入り、200円)
事務所にてまだまだ好評販売中!

2021 年度に向けて

【ESD連絡会議】

SDGsも視野に入れながら、団体間のつながりを広げていきます。

【メディアリテラシー入門講座】

オンラインでの実施については、さらに工夫をしながら取り組んでいきたいです。

【講師派遣】

引き続き多文化共生・協会事業について発信していきます。

【EPAST】

外国人人材を受け入れる意向のある事業主からの要請があれば、今までの経験で蓄積されたスキルを生かして、事業主との協働を大切にしながら、さらに充実した支援活動をしていきたいと思っています。

【通訳派遣】

相談事業の中で通訳者派遣を実施していきます。

市民活動 協働事業

市民活動協働事業

様々な市民団体、中間支援組織と共に、多文化共生のまちづくりをすすめるための協働事業を実施するとともに、市民主体の国際交流活動を促進するための相談、および支援をおこなっています。

2020 年度を振り返って

【しょうない REK】

月1回の会議に参加し、新型コロナウイルスの感染拡大で外国人が受けている影響や特に南部地域での外国人の様子について情報提供を行いました。

【豊中の市民活動共同デスク】

年数回の会議を持ち、毎回各団体共通のテーマ（ボランティア、地域、事業所との連携など）について情報共有、意見交換を行いました。

【とよなか国際交流フェスタ】

コロナの影響により中止となりましたが、希望する団体の紹介展示を館内ギャラリーに設けました。

【せかいのおばけやしき】

コロナの影響により中止となりました。



昨年度の世界のおばけやしきの様子

2021 年度に向けて

【しょうない REK】

市内南部地域で外国人が増えていることを踏まえ、引き続き情報提供を行うほか、具体的な取組みも検討していきたいです。

【豊中の市民活動共同デスク】

分野は様々な中間支援組織同士ですが、豊中の市民活動の活性化のために今後も意見を交わしていきたいです。

【とよなか国際交流フェスタ】

感染拡大状況を鑑みて、安全に開催できる方法を考えたいと思います。

【せかいのおばけやしき】

イベント自体が3密になる恐れがあるので、イベントの開催ではなく他事業との連携などを進めていきたいと思っています。

TOPICS ①

他地域とのネットワーク拡充に取り組んでいます

当協会では国際交流協会ネットワーク大阪、子どもの夢応援ネットワークなど、他の地域で多文化共生や外国人支援に取り組んでいる団体とのネットワークに参加しています。

2020 年度は災害時にお互いに協力し合えることを念頭に置き、離れた地域の国際交流協会との関係づくりを始めました（公益財団法人仙台観光国際協会 [宮城県]、公益財団法人武蔵野市国際交流協会 [東京都]、公益財団法人北九州市国際交流協会 [福岡県] と当協会の4協会）。オンラインでの情報交換が中心ですが、防災に限らず、相談、日本語教育など毎回テーマを設定して取り組んでいます。

また、西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市が中核市同士の連携を進めていることを踏まえ、多文化共生・国際交流の分野でも情報交換、協働での取組の模索を始めています。

日々の取組の中で、様々な壁にぶつかることも多いのですが、近くとも遠くとも連携して、できることを増やしていきたいと思っています。



施設管理 受託事業

情報サービス／施設管理受託事業

地域への情報発信、ならびにとよなか国際交流センターの貸室業務などの公共空間の管理、組織運営を行っています。

2020 年度を振り返って

【SNS 発信】

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新たに多言語 Facebook ページを設置しました。日本語を含め 10 言語で感染症対策や支援情報に関することなど様々な情報を発信しました。

【民族衣装・図書貸出】

今年度はイベントや学習発表会等の機会が減ったためか、例年に比べ民族衣装の貸出件数は減りました。図書は配置換えを行ない利便性を図りました。

【こくりゅうだより】

QR コードを入れた紙面を作成し配布したことで、ウェブサイトや Facebook ページへのアクセスが容易になりました。コロナ禍における国際交流協会の取組をまとめたパンフレットを作ったことで、外国人の状況を外部組織や市民に広く伝えるツールになりました。

【ギャラリー展示】

協会主催のイベントや事業が次々と中止になったことから、従来と同じ形での展示が難しくなりました。センター内の展示にとどまらず、駅前の市民活動情報サロンのギャラリーでも、協会の活動案内を掲示しました。

【施設管理受託事業】

今年はセンター登録団体と国際交流フェスタを実施することができませんでした（希望団体のポスター展示を実施）。利用しやすさに加え、感染のリスク回避（窓ストッパーやアクリルパネルの設置、消毒等）もしっかり進めながら、施設管理を行っています。



ふれあい交流サロンの図書コーナー。毎日換気・消毒し、アクリルパネルを設置して感染拡大防止に努めています。



年度末には、職員で一年間のふりかえりをしています。



(写真左・中) こくりゅうだより
(写真右) コロナ禍における当協会の取組をまとめたパンフレット (次ページ参照)

2021 年度に向けて

【SNS 発信】

Facebook ページもまだ十分に周知されていないので、しっかり広報していきたいと思っています。

【民族衣装・図書貸出】

多言語絵本や書籍、民族衣装の所蔵が増えたので、市内小中学校やこども園にもっと利用してもらえるような仕掛けづくりをしていきたいです。

【こくりゅうだより】

紙・オンライン配信でも情報を受け取れない外国人がいることから、全ての人に情報を届けられたとはいえず、他事業とより連携していきます。

【ギャラリー展示】

配布用として制作した「コロナ禍におけるとよなか国流の取組み」の展示バージョンの作成。

【施設管理受託事業】

新型コロナウイルスの感染防止を進めながら、安心して使える、居やすい、ほっとするような場づくり、いろいろ学べる施設づくりを進めていきます。

TOPICS ②

「世界を食べよう」世界の家庭料理レシピ集を発刊しました

とよなか国際交流協会では、2014年から多文化共生推進事業の一つとして「世界を食べよう」という活動を実施しています。外国人の方を講師として招き、地域の方々と食を通じて交流してもらうこと、その交流を通して異文化理解を促進すること、そして食文化を教えるってもらうことで講師となった外国人をエンパワメントすることを目的とした活動です。

大人数で飲食を含む活動であることから、新型コロナウイルス感染症対策のため2020年度の実施は見送ることになりました。その代わりに…と思いついたのがレシピ本の発行です。2014年の開始から6年にわたり、「世界を食べよう」で紹介してきた料理を1冊にまとめました。南米からアジア各地、ヨーロッパ、アフリカの11か国・地域の料理、約40品のレシピが掲載されています。

レシピ本の作成というのは全く未経験かつ未知の領域で、レシピの見直しをしたり、料理写真の撮影方法をネットで調べたり、“映える”写真を撮るために四苦八苦したり…と、制作過程はなかなか大変なものでしたが、ボランティアの方にも料理の再現や撮影などご協力をいただき、なんとか完成させることができました。ご協力いただいたボランティアのみなさまには、改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、単に料理を紹介するだけではなく、“人や文化が見える本”を目指し、レシピだけでなく料理にまつわるコラム、講師となった方へのインタビューや食料店情報なども掲載しており、とても読み応えのある一冊となっていると思います。

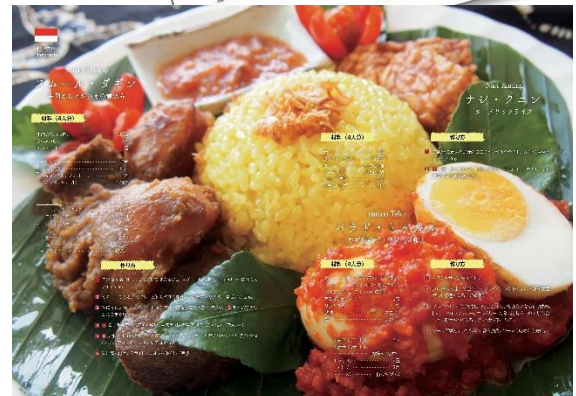
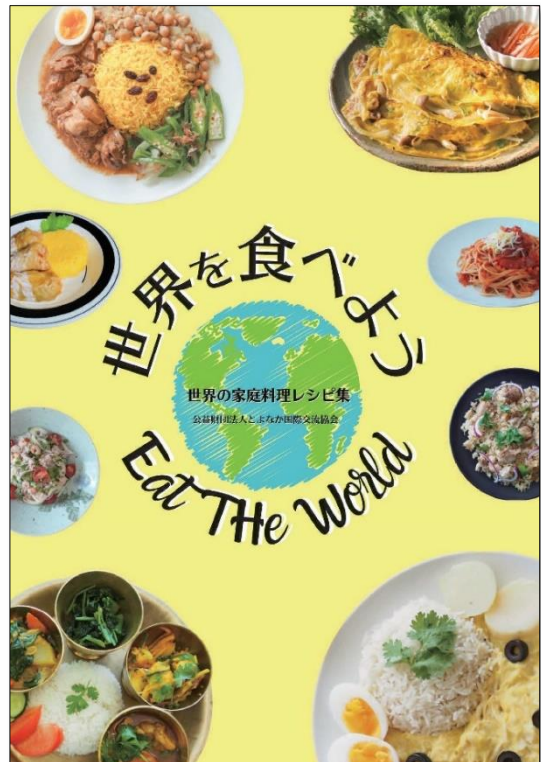
このコロナ禍で海外に行くことも、外食することすら憚られるようなご時世ではありますが、このレシピ本を読んだりお料理を作ったりすることがみなさんの安らぎの時間になればと思います。また、本書を通じて海外の食文化や地域に暮らす外国人の方をより身近に感じてもらえれば嬉しい限りです。

2021年3月末発行、B5判、61ページ

価格：500円（税込み）

とよなか国際交流センター事務所とオンラインショップ（BASE）にて販売中 <http://atoms.official.ec>

※一般の書店での取り扱いはありません。



コロナ禍におけるとよなか国流の取り組みについてまとめたパンフレットを作成し配布しました。

コロナ禍 での取組 の経過

新型コロナウイルスの感染が広がる中、協会が取り組んできたこと、日本や世界で起きた主な出来事と合わせて時系列でまとめました。

2020年

- 1月** WHO（世界保健機関）が新型コロナウイルスの発生を確認
- 2月** 災害時多言語情報支援センターを設け、
外国人に交流活動などの活動休止（約3か月）
多言語相談サービスの相談受付日を通1回
から週4回に増設
Facebookページを10言語で開設
- 3月** 豊中市内で1人目の感染者を確認
- 4月** 大阪府を含む7都道府県に緊急事態宣言が発令（16日には全国に拡大）
とよなか国際交流センター営業が中止に
相談対応も電話、メール、messengerに
切り替、相談日を週5日に増設
- 5月** 緊急事態宣言 関西は解除
来館での相談対応を再開。
センターの営業を一部再開
- 6月** センターの営業を全部再開
協会ウェブサイトへ新型コロナウイルスに
関する多言語情報開設ページの開設
- 7月** Gotoトラベルキャンペーン開始
国内の死者1000人超える
（クルーズ船除く）
感染者の増加をうけ、日本語交流活動
が再度休止に（約1か月）
- 8月** 世界の感染者2000万人超
- 10月** オンラインでの日本語教室スタート
庄内公民館での日本語教室スタート
- 11月** 大阪府、コロナ重症者数が国内最多に
外国人向けコロナなんでも相談会を
開催で実施
- 12月** くらしを守る総合相談会
（主催：豊中市）で外国人相談を実施

多言語による情報発信

公益財団法人とよなか国際交流協会では、豊中市と締結した協定（2016年2月）に基づき、2020年2月3日に災害時外国人多言語情報支援センターを設置しました。

WEBSITE
11言語に対応

【対応言語】
日本語
中国語
韓国語
英語
フィリピン語
スペイン語
ベトナム語
タイ語
インドネシア語
ネパール語
ポルトガル語

コロナ関連の特設ページも
開設しました

FACEBOOK
10言語に対応

ウェブサイトトップ
ページから、各言語
Facebookページに
アクセスできます。

MAIL NEWS
9言語で配信

ウェブサイトトップ
ページから、多言語
メール配信の登録がで
きます。
お使いの携帯やスマホ
パソコンに情報を直接
お届けします。

【問合せ】公益財団法人とよなか国際交流協会
〒560-0026 豊中市玉井町1-1-1 エトレ豊中6階
TEL：06-6843-4343 FAX：06-6843-4375
E-mail：atoms@a.zaq.jp
WEB：https://www.a-atoms.info/index.php

【現状報告】

ATOMS × COVID-19

ASSOCIATION FOR TOYONAKA MULTICULTURAL SYMBIOSIS

コロナ禍における とよなか国流の取組

新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、
2020年のコロナ禍における支援の取組と
これからについてまとめました。

豊中市内には、93
の国・地域出身の
外国人（韓国籍含
む）が約6000人
暮らしています。

約 6000人

2020年の多言
語による情報発
信件数は、1066
件でした。

1114件

2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

※2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

※2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

※2020年12月末時点の情報を掲載しています。
詳しくは協会ウェブサイトもしくは協会Facebookページにてご確認ください。

24

外国人の困りごと

- ・豊中市内・市外に住む外国人から生活・仕事・健康・教育などについてさまざまに相談が寄せられています。
- ※その背景に外国人の社会的孤立があります。

《仕事》

- ・失業した
- ・収入が減って困っている
- ・休業期間が長引いて困っている
- ・保険料や家賃の支払いが難しい
- ・仕事を探しているが、履歴書が書けない
- ・帰国できないので働きたいが、仕事が見つからない
- ・職場で感染者が出たが、ちゃんと説明してもらえない…など

母話じやないから
感染者の状況が
よくわからない…。



《生活・子育て》

- ・コロナの状況がわからない
- ・豊中市の感染者の状況がわからない
- ・出産時の立会いがなく、外国で一人でお産するのは言葉もわからず、不安だ（国から親を呼ぶこともできない）
- ・緊急事態宣言が何かわからない
- ・学校の情報がわからない/学校からのお知らせが読めない
- ・体校の手続きが難しい、書類が読めない
- ・給付金は給付金がもらえないといわれたが本当か
- ・差別・偏見が怖い…など

収入が減って
困っている…。



《健康》

- ・PCR検査をしたいが、どうしたらいいか
- ・帰国するのにPCR検査の結果がいるが、どこで検査できるか
- ・感染したら、どうしたらいい？…など

困りごとへの対応

外国人の状況や相談の内容などに合わせて、困りごとへの対応をすすめています。



zoom・Facebookメッセージャーを使った相談対応

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、センターに足を運ぶことが難しい外国人のため、これまでの対面や電話の相談に加えて、zoomやメッセージャーを使った相談対応をしています。

特にzoomでは顔が見えることの安心感だけでなく、例えば画面を通しての申請書の記入の案内を行うなど、従来の相談対応に近い形で対応しています。

困りごとに応じた多言語情報の発信

外国人の困りごとは非常にさまざまであり、出身国・地域によって寄せられる相談にちがいがあります。

その時の状況・対象者に応じて多言語情報を作成し、協会ウェブサイトでFacebook・多言語でのメール配信など、積極的に情報発信を行っています。

様々な機関と連携した相談会の実施

様々な困りごとが寄せられていますが、当協会だけでは十分な対応ができないこともあります。国際交流センターを会場にして、当協会、豊中市福祉部包括支援プロジェクトチーム、豊中市社会福祉協議会との主催で外国人向けコロナなんでも相談会を実施しました。

コロナ禍で減収した会社に解雇されて生活困難に陥った人たち、在留資格の問い合わせ、家庭内の不和など様々な相談が寄せられました。

今後必要な対応について

相談対応、多言語での情報発信、日本語学習など、外国人とのつながりを維持する取り組み（孤立を防ぐ）をすすめています。さらに新しい課題も見えてきています。

必要な情報に正しくアクセスするために

- ・社会保障制度や医療機関など、特にワクチン接種に関する情報の郵送のほか、説明会や会場での多言語・多文化対応
- ・多言語情報がどれくらい届いたのか、生活状況の変化などの状況把握
- ・既存の外国人コミュニティとの連携など

地域中でのセーフティネットづくり

- ・外国人が地域社会の一員として孤立しないための取組
- ★にほんご交流活動などでは、オンラインでの活動をスタートし、これまでに作ってきたつながりの維持に取り組んでいます。



》》 その他センター事業について

感染拡大により対面での活動・イベント開催が複数中止となりましたが、地域に暮らす外国人の孤立を防ぐため、できる限りの工夫をして事業を続けています。

財務報告

正味財産増減計算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日

(単位:円)

勘定科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用利益				
基本財産受取利息	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
②特定資産運用利益				
特定資産受取利息	64,200	0	0	64,200
特定資産運用益計	64,200	0	0	64,200
③受取会費				
賛助会員受取会費	498,000	0	0	498,000
受取会費計	498,000	0	0	498,000
④事業収益				
自主事業収益	718,054	0	0	718,054
事業収益	834,977	0	0	834,977
事業収益計	1,553,031	0	0	1,553,031
⑤受託事業収益				
豊中市指定管理受託収益	71,005,466	1,671,572	0	72,677,038
小学校英語外国語体験活動事業受託収益(豊中市)	4,282,645	0	0	4,282,645
生活困窮者支援事業受託収益(豊中市)	0	0	0	0
南風にほんご受託事業収益(豊中市)	999,570	0	0	999,570
受託事業収益計	76,287,681	1,671,572	0	77,959,253
⑥受取補助金等				
助成金(大阪コミュニティ財団)	0	0	0	0
助成金(独立行政法人福祉医療機構)	1,321,000	0	0	1,321,000
受取補助金計	1,321,000	0	0	1,321,000
⑦受取寄付金				
受取寄付金	79,531	0	301,379	380,910
受取寄付金計	79,531	0	301,379	380,910
⑧雑収益				
雑収益	1,990	0	0	1,990
雑収益計	1,990	0	0	1,990
経常収益計	79,805,433	1,671,572	4,175,135	85,652,140
②経常費用				
①事業費				
給料手当	30,660,983	103,680	0	30,764,663
臨時雇用賃金	2,670,894	40,674	0	2,711,568
福利厚生費	5,807,625	88,441	0	5,896,066
旅費交通費	2,309,894	0	0	2,309,894
通信運搬費	840,472	0	0	840,472
図書配布費	145	0	0	145
消耗品費	2,818,159	7,870	0	2,826,029
修繕費	1,537,160	36,187	0	1,573,347
印刷製本費	422,132	0	0	422,132
材料費	134,571	0	0	134,571
水道光熱費	4,737,666	113,863	0	4,851,529
賃借料	1,281,526	0	0	1,281,526
保険料	276,470	0	0	276,470
報償費	12,509,247	0	0	12,509,247
租税公課	5,317,920	113,930	0	5,431,850
支払負担金	95,675	0	0	95,675
委託費	4,898,424	104,718	0	5,003,142
使用料	328,629	0	0	328,629
支払手数料	256,703	92	0	256,795
食料費	49,826	0	0	49,826
渉外費	0	0	0	0
研修費	107,000	0	0	107,000
広告宣伝費	405,271	0	0	405,271
雑費	20,655	0	0	20,655
雑損失	12,496	0	0	12,496
事業費計	77,499,543	609,455	0	78,108,998

勘定科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
②管理費				
給料手当	0	0	850,190	850,190
福利厚生費	0	0	34,240	34,240
旅費交通費	0	0	28,260	28,260
通信運搬費	0	0	19,730	19,730
消耗品費	0	0	20,987	20,987
水道光熱費	0	0	99,011	99,011
賃借料	0	0	36,760	36,760
保険料	0	0	102,260	102,260
報償費	0	0	932,095	932,095
租税公課	0	0	6,800	6,800
使用料	0	0	3,582	3,582
委託費	0	0	252,911	252,911
食料費	0	0	0	0
研修費	0	0	56,400	56,400
渉外費	0	0	7,560	7,560
広告宣伝費	0	0	0	0
支払手数料	0	0	850	850
管理費計	0	0	2,451,636	2,451,636
経常費用計	77,499,543	609,455	2,451,636	80,560,634
評価損益等調整前当期経常増減額	2,305,890	1,062,117	1,723,499	5,091,506
特定資産評価損益等	△ 122,704	0	0	△ 122,704
当期経常増減額	2,183,186	1,062,117	1,723,499	4,968,802
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	521,494	△ 521,494	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	2,704,680	540,623	1,723,499	4,968,802
法人税、住民税及び事業税	0	196,600	0	196,600
当期一般正味財産増減額	2,704,680	344,023	1,723,499	4,772,202
一般正味財産期首残高				17,577,010
一般正味財産期末残高				22,349,212
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用利益				
基本財産受取利息(指定)	0	0	3,873,756	3,873,756
基本財産運用益計	0	0	3,873,756	3,873,756
③受取寄付金				
受取寄付金(相違・多支欠(シホアール事業))	0	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0	0
④一般正味財産への振替額				
基本財産運用益振替額(指定)	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
一般正味財産への振替額計	0	0	△ 3,873,756	△ 3,873,756
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				202,000,000
指定正味財産期末残高				202,000,000
III 正味財産期末残高				224,349,212

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 基本財産の投資有価証券は償却原価法(定額法)によっている。

その他の有価証券 特定資産の投資有価証券は期末日の市場価格に基づき時価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用図書 個別法による原価法によっている。

当期末の売価棚卸残高に基づき計上している。

(3) 引当金の計上基準

貸与引当金 職員に対する貸与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) リース取引の処理方法

TOPICS ③

新型コロナウイルス感染症拡大による多言語支援センターの運営

新型コロナウイルス感染症拡大の中、様々な活動が制限され、外国人の生活基盤の脆弱さは思った以上にはっきりと出ました。

情報がどこにあるか分からない、日本語が難しく理解できない、wifi 環境がない、子どもの家庭学習を見れない、仕事がなく生活が苦しい、仕事もお金もなくなり帰国したいが飛行機が飛んでいない、外国人ということを理由に差別される…など(詳細は p.24~25 のパンフレットをご覧ください)。

当協会では豊中市の設置要請を受け、2020 年 2 月 3 日に災害時多言語情報支援センターを設置して以来、様々な情報提供、相談体制の拡充、他機関と連携した相談会の実施などをしてきました。2021 年度も引き続き、災害時多言語情報支援センターの業務を行うだけでなく、どこまで機能したか、検証しながら少しずつでも改善に取り組んでいきます(※豊中市と協働でコロナ禍で外国人がどういった影響を受けたか、どういった課題を抱えているか…等の調査を行う予定です)。

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
小口現金	93,689	52,220	41,469
貸室用現金	2,400	1,480	920
普通預金	17,612,332	13,540,477	4,071,855
郵便振替貯金	0	0	0
財政調整定期預金	2,000,000	2,000,000	0
現金預金合計	19,708,421	15,594,177	4,114,244
(2) 棚卸資産			
販売用図書	158,374	171,015	△ 12,641
棚卸資産合計	158,374	171,015	△ 12,641
(3) その他流動資産			
未収金	2,073,125	1,270,027	803,098
前払金	60,000	48,000	12,000
立替金	0	0	0
その他流動資産合計	2,133,125	1,318,027	815,098
流動資産合計	21,999,920	17,083,219	4,916,701
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産預金	807,072	880,828	△ 73,756
投資有価証券	199,192,928	199,119,172	73,756
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
事業継続積立資産	2,000,000	0	2,000,000
財政調整積立資産	10,404,567	10,527,271	△ 122,704
多文化子どもエンパワメント事業積立資産	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	14,404,567	12,527,271	1,877,296
固定資産合計	214,404,567	212,527,271	1,877,296
資産合計	236,404,487	229,610,490	6,793,997
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,350,276	4,158,171	2,192,105
未払消費税等	3,171,800	2,465,300	706,500
未払法人税等	196,600	233,100	△ 36,500
前受金	37,000	261,000	△ 224,000
預り金	560,566	711,321	△ 150,755
市預り金(貸室)	2,400	1,480	920
修繕預り金	0	696,041	△ 696,041
賞与引当金	1,736,633	1,507,067	229,566
流動負債合計	12,055,275	10,033,480	2,021,795
負債合計	12,055,275	10,033,480	2,021,795
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取基本財産預金	807,072	880,828	△ 73,756
受贈投資有価証券	199,192,928	199,119,172	73,756
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	202,000,000	202,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
2. 一般正味財産			
一般指定正味財産合計	22,349,212	17,577,010	4,772,202
(うち特定資産への充当額)	(14,404,567)	(12,527,271)	(1,877,296)
正味財産合計	224,349,212	219,577,010	4,772,202
負債及び正味財産合計	236,404,487	229,610,490	6,793,997

2021(令和3)年5月8日

監査報告書

公益財団法人とよなか国際交流協会
理事長 坂本 康之 殿

公益財団法人とよなか国際交流協会

監事 種田 ヲシ子

公益財団法人とよなか国際交流協会

監事 栗原 貴子

公益財団法人とよなか国際交流協会

監事 吳 幸智

私たちは監事は、令和2(2020)年4月1日から令和3(2021)年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

- 1 監査の方法及びその内容
各理事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の準備の徹底に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。
- 2 監査意見
(1) 事業報告等の監査結果
一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令を著しく違反する重大な事実は認められません。
(2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び負債の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

2020年度募金
230,800円
その他寄付
97,000円

書き損じはがき、未使用テレカなどのリサイクルキャンペーン
1473円(相当) 他民族衣装、食品等
ご協力ありがとうございました

いただいた募金および物品は、「多文化こどもエンパワメント事業」等支援事業に役立てさせていただきます。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。引続きどうぞよろしくお願いいたします。

【ご報告】「多文化子どもエンパワメント事業」

多文化子どもエンパワメント事業の一事業である「若者支援事業」では、外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった若者世代に対して、様々な活動を行ってきました。2020年度は若者のための居場所づくり「たまりば」の活動(39回、のべ126人)、支援者研修会、イベント、相談対応、ネパールにルーツを持つ若者に関する調査などを実施しました。2021年度からは若者支援事業は指定管理事業として実施することになります。外国にルーツを持つ子どものための日本語支援「学習支援こんぱす」は引き続き多文化子どもエンパワメント事業として継続し、ボランティアが小・中学生向けの日本語指導を行います。今後も当事者のニーズに沿った活動を続けていきます。ご支援いただいた皆様に心から感謝いたします。



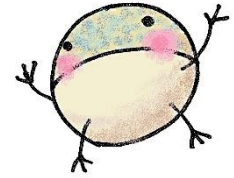
協力者ご芳名

(2020年度分の賛助会費・2020年度内に募金・寄付金およびリサイクル寄付にご協力いただいた方々、敬称略、五十音順、過去に匿名希望だった方は今年も匿名にしています)

青柳 尚子	長野 良子
赤尾 勝己	永原 武敏
有賀 千洋	野島 大輔
有田 進	野田 幸宏
池田 真知子	野村 智子
石墨 方子	芳賀 理絵
石田 町子	長谷川 洋司
石原 毅	服部 圭子
井関 雅子	原田 武男
市来 奈津未	原田 正仁
伊藤 真生	久木 治男
井上 良	樋渡 達成
井下 祥子	藤田 和世
今井 貴代子	古澤 晶子
岩田 一成	細見 啓子
上田 幸子	増田 麻美子
上田 斐子	松本 康之
内海 弘子	丸山 竹司
榎井 縁	水田 仁美
榎原 智子	水野 寿子
老田 眞理子	南 一成
種田 ゆみこ	宮地 和夫
大池 裕子	Yoriko Muro
大岡 一馬	本原 光弘
大島 昭子	森 博次
太田 法子	森川 陽子
奥井 泰伸	薮田 直子
於勢 眞十郎	山田 卓史
小田 垣 進	山田 ゆかり
小野 仁彦	山田 卓史
勝見 崇充	山野上 隆史
Uichi Kamiyoshi	山本 愛
木内 淑子	山本 圭介
北村 澄子	山本 浩司
木村 隆夫	山本 千恵
金城 清美	山本 恵信
菜高 喜秋	吉岡 誠一
郡山 智代	吉岡 良子
小島 和恵	吉田 照文
後藤 澄江	吉宮 文代
小松 明仁	米澤 千枝
斎藤 武晴	和田 由起子
栄 裕矢	
佐川 伸子	匿名希望 32 名
佐藤 英樹	
佐藤 靖志	
Sicong Chen	
城地 秀美	
神宮 優	
角田 卓也	
仙田 武司	
園崎 寿子	
宋 悟	
大源 文造	
高木 智志	
高田 絵里子	
高畑 幸	
田上 浩	
滝村 恵子	
田中 清子	
田中 潤治	
谷口 正子	
照井 篤子	
徳弘 保	
徳弘 博子	
徳岡 美知子	

<団体>

キタノ商事株式会社
 公益財団法人 AFS 日本協会大阪北支部
 豊中平和連帯会議
 社会福祉法人 大阪府社会福祉事業団
 「こんばす」とよなかJSL
 NPO 法人 国際交流の会とよなか
 在日本大韓民国国民団大阪府豊能支部
 日本聖公会 石橋聖トマス教会
 日本聖公会 東豊中聖ミカエル教会
 一般社団法人 豊中市日本中国友好協会



当協会ウェブサイトから
 クレジットカードで会費や寄付金を
 お支払いできるようになりました！



お手続きは右のQRコードから→→→

賛助会員になって、 協会を応援して下さい！

協会の理念に賛同して、会員として協会の外国人のための支援事業を支えて下さる方を募集しています。

会員になると、「こくりゅうだより」などの情報を毎月郵送でお届けします。

クレジットカード(当会ウェブサイトから)、郵便振替、当会受付で現金支払いが可能です。郵便振替の場合、以下の郵便振替口座あてに年会費をご送金ください(通信欄に「賛助会員年会費」と明記して下さい)。

当会への会費は税額控除の対象となります！

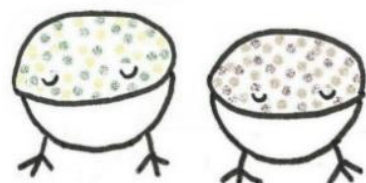
●加入者名：
公益財団法人とよなか国際交流協会

●口座番号：
00990-3-305828

●年会費：個人 3,000 円、団体 10,000 円、法人 10,000 円
 (会員期間：4月～翌3月末)

※ご寄付も随時受け付けています！(税額控除の対象となります)

※他、未使用テレカやはがき、中古ゲームソフトなども集めています。



(公財) とよなか国際交流協会 役員

(2021年6月15日現在、順不同、敬称略)

【理事】

理事長：松本 康之（弁護士：長野総合法律事務所）
 常務理事：山野上 隆史（とよなか国際交流協会事務局長）
 榎井 縁（大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター特任教授）
 大島 昭子（ボランティアグループ音・音オカリーナ代表）
 浦 耕太郎（豊中市立小学校教諭）
 服部 圭子（近畿大学生物理工学部教授）
 徳弘 博子（元学校法人大阪音楽大学研究事務部門部門長）
 栞高 喜秋（元豊中市職員）

【監事】

種田 ゆみこ（種田ゆみこ公認会計士税理士事務所）
 呉 幸 哲（呉税理士事務所）
 栗原 貴子（栗原貴子公認会計士・税理士事務所）

【評議員】

井関 雅子（豊中女性防火クラブ連絡協議会会長／
 大阪国際文化協会会員）
 野崎 志帆（甲南女子大学文学部多文化コミュニケーション学科教授）
 窪 誠（大阪産業大学経済学部教授）
 園崎 寿子（エクパット・ジャパン関西共同代表）
 宋 悟（特定非営利活動法人クロスベイス代表）
 大家 幸子（豊中市立中学校教諭）
 村上 深雪（豊中市民）

【顧問】

金 菊子（大阪女学院大学特任講師）
 南 一成（元公益財団法人大阪府国際交流財団常務理事兼事務局長）
 柴田 亨（よみかき茶屋コーディネーター）

STAFF

(ある日の起床時間順) 2021年4月1日現在

事務局スタッフ一同 (+理事長) です。2021年度もよろしくお祈りします！



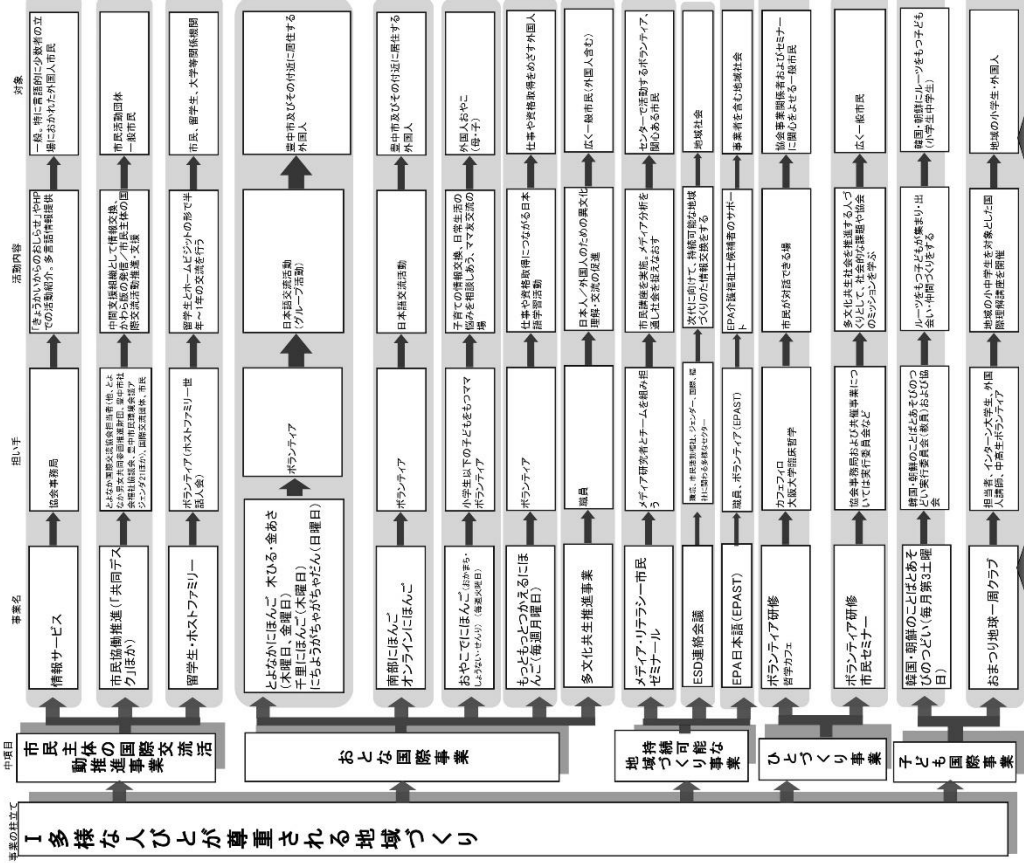
- 上段左より：三木幸美（総務担当）／三谷あゆ子（総務担当）／石田みどり（事業担当）／御園美由紀（総務担当）
 山野上隆史（常務理事兼事務局長）／ジャ・チン（相談事業コーディネーター）
- 下段左より：安藤綾子（総務主任）／黒島トーマス友基（事業担当）／松本康之（理事長）／大庭みゆき（事業担当）
 山根絵美（事業主任）／山本愛（事務局次長）／山本房代（事業主任）

公益財団法人とよなか国際交流協会 2020年度年次報告書（概要版）「こくりゅう@home 2020」
 発行者：公益財団法人とよなか国際交流協会 発行責任者：理事長 松本康之 発行日：2021年6月20日
 住所：大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター
 TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaq.jp URL: http://a-atoms.info

公益財団法人とよなか国際交流協会：事業一覽

2020年4月現在

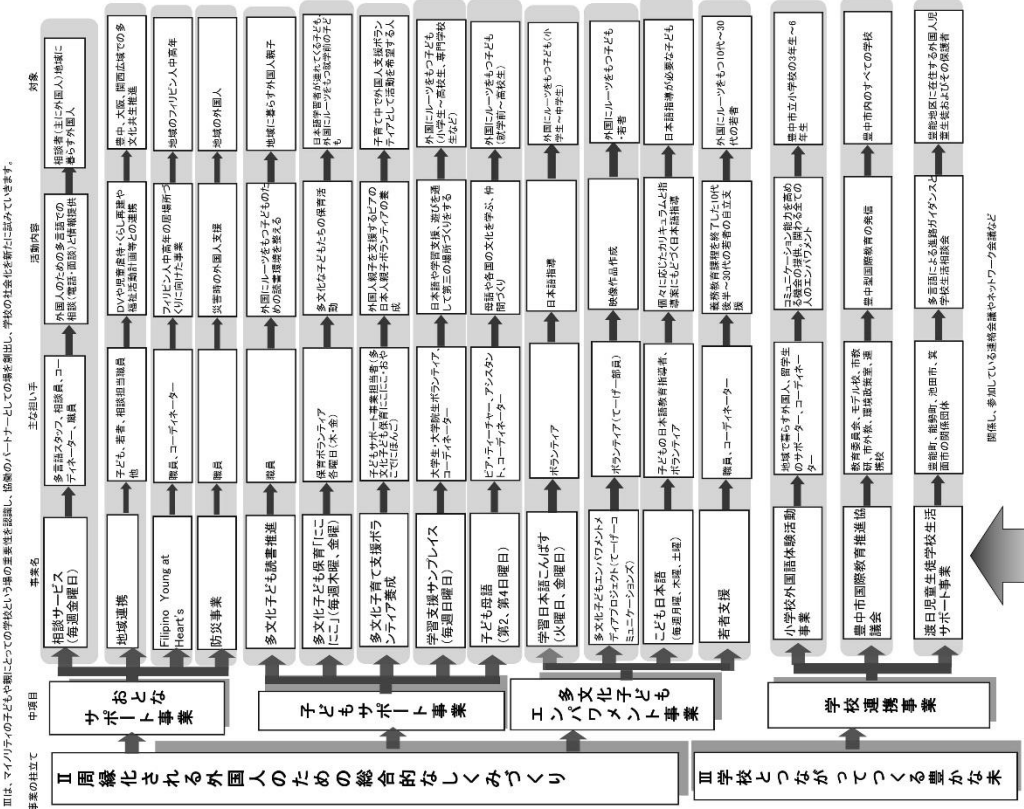
事業の概要として、は、マシナリや事業の概要に関するお問い合わせが、事業の概要を説明し、活動のイメージが伝わるように掲載しております。



要中地域社会福祉活動計画推進委員会、豊中市地域福祉推進委員会、豊中市立中学校連携体験(GUL)、豊中市識字・日本語習得委員会、世界人権宣言豊中連絡会議、国際交流協会ネットワーク大阪(ほか)

職員、参加している連絡会議やネットワーク会議など

IIは、マイリテラシーの権利を保障するよう市内に広く普及させます。児童化される外国人に、"つなぐ"という深い関わりを、安心・安全・エンパワーメントの観点から、活動の場を提供してまいります。



豊中市DV防止ネットワーク会議、豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議、豊中市人権相談機関ネットワーク会議、豊中市子ども読書推進連絡協議会、豊中市教育委員会児童生徒保護推進委員会、豊中市若者育成協議会、豊中市国際教育推進協議会、大阪府外国人相談窓口担当ネットワーク会議、全国在日外国人生活交流委員会、豊中市国際教育推進協議会、豊中市国際教育推進協議会、子ども・若者支援協議会、子ども・若者支援協議会、子ども・若者支援協議会、子ども・若者支援協議会

職員、参加している連絡会議やネットワーク会議など

外国人と共生する地域づくり

大阪・豊中の実践から見えてきたもの

「共に生きるための地域づくり」を理念に25年間活動してきたよなかと国際交流協会の実践から学ぶ支援のヒント。外国人支援に関心はあるがツールのない行政・福祉の専門職、地域国際交流協会に向けて、多文化共生と福祉をつなぐ観点と可能性について論じる。



【内容構成】

- はじめに：本書の使い方 [山野上隆史]
- 第I部 実践編——実践化される人々のための総合的なしくみづくり**
- 序章 事業の基盤と「顔の見える公」をめざして [櫻井 敏]
- 1章 相談事業
- 1 支援施設——安心と信頼をつくる体制と実践 [吉野かおり]
 - 2 相談事業担当職員の実践経緯 [山本 望]
- 2章 こども事業
- 1 子ども事業の原点——子どもがフランクアがつくる広場 [伊井真代子]
 - 2 こども事業と地域づくり——「いいねんね」から始まる道 [山根祐美]
 - 3 音楽交流——職員がって宿む [黒島トモユキ]
- 3章 日本語交流活動
- 1 「日本語を教える」から「日本語で知り合う」つながりへ [謝夫和紀子]
 - 2 市民による日本語交流活動の広がりに [山野上隆史]
 - 3 日本語学習の現場——働く者の実践と関係づくり [山本代子]
- 4章 国際に繋がる人びと [永田典雄]
- 5章 国際的取り組みを捉えなおす——ソーシャルワークの視点から [門田由紀]

●定価 **2,400円**(+税)
A5判/並製/304頁

公益財団法人 よなかと国際交流協会 [編集]
牧里毎治 [監修]

●編集
公益財団法人 よなかと国際交流協会

よなかと国際交流協会は、人権尊重を基盤とした市民主体の国際交流活動を推進することにより、地域の国際化を促進し、持続可能な「よい地域社会づくり」に寄与することを目的として1993年に設立され、2018年に25周年を迎えました。所轄や支援とともに多文化共生の「地域づくり」と「人づくり」を推進すると同時に、マイノリティである外国人が自立できる「しくみづくり」をすすめています。

●監修者
牧里毎治(まささと・つねじ)

関西学院大学名誉教授、関西学院大学客員教授、専門は地域福祉とコミュニティ学、人権法、人権学、豊中市、豊中市、西宮市、神門中等の地域福祉(支援)計画策定委員長を歴任。地域内や商店街活性化のプログラム開発と地域社会に貢献する社会起業家の育成について研究。

明石書店 TEL:03-5818-1171
FAX:03-5818-1174
〒101-0001 東京都千代田区外神田5-9-6
図書目録送付 <http://www.akashi.co.jp>

ご注文方法

●郵送の書店へ、このチラシご持参の上、ご注文ください。
●お送りご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。
●代金引当を希望の場合は送料がかかります。(代金は配達の日にお支払いください。送料代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円がかかります。)

好評販売中!

無断離婚 対応マニュアル

外国人支援のための
実務と課題

二宮周平・松本康之 監修
協議離婚問題研究会
(リコン・アラート)



突然追い出され、
知らない間に
離婚されていた!

子どもにも
会えなくなった……

今後の生活は
どうすれば?

被害に苦しむ外国人に寄り添い、サポートする
支援者のための必読書。

日本加除出版株式会社

よなかと国際交流協会年次報告書概要版

「こくりゅう@home」に広告を掲載しませんか

この年次報告書に、普段地域で活躍されておられる店舗・事業所・企業の皆様の広告を掲載させていただくことで、ご活躍を知っていただく機会とするとともに、地域の活性化にも役立てたいと願っています。広告の掲載についてご関心のある方は、詳細について事務局までお問合せください。

＜サイズと料金（データ持ち込みの場合）＞

カテゴリ	金額（年間）※税込
全面広告（カラー）	30,000 円
半面広告（カラー）	15,000 円
四分の一（カラー）	8,000 円
八分の一（カラー）	4,000 円

※当会賛助会員は上記金額より20%割引

よなかと国際交流協会 TEL06-6843-4343

広告協賛



空調機器販売・設計・施工
空調機リース・レンタル
給排水衛生設備 住宅設備機器販売・施工

株式会社 アオイ冷熱

〒560-0026 豊中市玉井町1丁目9番9号
PHONE (06) 6855-8182
FAX (06) 6855-7566
E-mail: aoi-mail@tctt.zaq.ne.jp



豊中南ロータリークラブ

豊中市本町 3-1-16 ホテルアイポリー内
TEL:06-6841-6996 FAX:06-6852-2500
E-mail: tsrc@mail.infomart.or.jp

保険のことならおまかせください！

生命保険 損害保険 傷害保険
自動車 自転車 火災・地震
子ども 旅行 趣味 老後 等

株式会社ライフサポート

大阪府茨木市美沢町20番地18号1F
電話番号 072-646-5434
E-mail: lifesupport-sj@snow.ocn.ne.jp
http://www.sjnk-ag.com/a/life_support/

自家焙煎珈琲店 Basic珈琲

大阪府豊中市
西緑丘3-13-1
シンミ西緑丘ビル1階
☎06-4867-3437
営業時間
9:00～18:00
月曜のみ9:00～11:30
定休日
木曜日



特定非営利活動法人
日本ハラール協会
NPO Japan Halal Association
〒558-0011 大阪市住吉区苅田3-17-4
エクセルアビコ2F

お問合せ
Tel: 06-4703-5966
Fax: 06-4703-5977
Email:
info@jhalal.com
Website:
www.jhalal.com

多文化共生・持続可能な社会を目指して

活動内容

- ◇ハラール認証
- ◇ハラール・イスラーム講習・セミナー各種
- ◇外国人ムスリムサポート
- ◇学生支援



お気軽に
ご相談ください

豊中で世界グルメツア～

在住外国人が大活躍！

カフェ・サパナは10年目をむかえ、リニューアルオープンしました。これからも応援よろしくお願ひします。



Welcome!

日が変わり・国が変わり サパナランチ

平日 11:30～14:00 頃(売切れまで)
お料理自慢の外国人が、母国の家庭料理を紹介しています。



世界の味をそのままパック！

サパナ弁当

その日のランチをお持ち帰りいただけます。
(事前にご注文ください。)



アットホームな レンタルスペース

お店を丸ごとお貸しします。
飲食店、パーティー、ミーティングなどにお使ひください。
まずはご相談ください。
(夜間および土日祝日
基本料金 1時間 1000円)



Facebook 発信中！

<ご注文・お問合せ>

カフェ・サパナ

TEL 06-6840-1014
メール tifa99@nifty.ne.jp
(TIFA 事務局)



豊中市本町 3-3-2-101
阪急豊中駅北口から徒歩 3分

カフェ・サパナはTIFA(国際交流の会とよなか)の支援を受けて、地域の外国人と日本人が協力して運営しています。